



広報

# しんち

12月1日現在  
( )内は前月比



2,039世帯(+2)

男 4,367人(+11)

女 4,525人(-8)

合計 8,892人(+3)

163号

60/1



写真—新地保育所、かき組・もも組による今年のえと「うし」の文字

未来を拓く

## 60年代の幕明け

新年あけましておめでとうございます。  
合併三十周年の昨年は、夏の好天候に恵まれ、稲作は四年来の不作を返上し、大豊作の年になりました。

明けて今年は丑年、モウ烈に生きるもよし、のんびり人生を反芻しながら生きるもよし、昭和六十年代のスタートの年。新地町の未来を託す相馬地域開発計画も、相馬港がエネルギー港湾として着々整備される中で、電源地帯工業団地として六十年には用地買収、造成工事の一部着工と進み、六十二年には火力発電所建設工事を着手し、六十六年には一号機の運転開始の運びとなる計画です。

工業団地内の移転者の代替宅地についても、今年度中に駒ヶ嶺の新林地区に宅地造成工事が進められます。

こうした中で町では、地域の独自性をふまえながら、町民の英知の結集により昭和六十一年から始まる「第四次基本計画」の策定をすすめる、いよいよ夢多き未来に向って飛躍のスタートを切ります。



町長 荒 和英

# 相馬地域開発に全力

町長 荒 和英

新年を迎え皆様のご健勝を心からおよろこび申し上げます。町政に対する日頃のご協力に對しまして深く感謝を申し上げます。

新年は待望の豊作にめぐまれ久しぶりに明るい笑顔が畔道にこぼれました。また、三カ村合併三十周年を迎えて、姉妹都市伊達市への町民号などの記念行事も盛大に行われましたが、とくに評論家の草柳大蔵先生の講演会は、これからの歩みについて、多くの示唆に富んだものであったと思えます。

度もたいへん厳しく、それだけにいつそう町づくりに創意工夫が求められております。ことしはまず懸案の相馬地域開発促進に全力をあげますので、関係地権者の皆さまのご協力、そして全町民各位のご支援を伏してお願いいたします。

困難な環境を乗り越え、夢多き未来をめざして努力をいたしますので、なにとぞいつそうのお力添えを賜りますようお願いいたします。ご多幸をこ祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 謹賀新年

日頃町政の振興にご協力をいただき深く感謝申し上げます。行財政改革、相馬地域開発計画の推進など重要課題の解決に全力をあげる所存です。本年もいつそうのご指導とご支援をよろしくお願いいたします。昭和六十年 元旦

# 年頭のあいさつ



議長 鈴木 勤一

# 町民生活安定と福祉の向上を

議長 鈴木 勤一

謹んで新春のお喜びを申し上げます。希望に満ちた昭和六十年の新春を迎え、みなさまのご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

今年本町は相馬地域開発をひかえ夢と希望に満ちた時代を迎えようとしており、この開発を推進するにあたって、議会といたしましては、特別委員会を設置して、地権者のみなさんご期待に沿うよう努力いたしております。

町当局ならびに関係者はもちろん全町民が一致協力し、この事業推進にあたらねばならないと考えております。町民生活の安定と福祉の向上を図るため社会経済情勢等の変化に即応した議事活動を展開してまいります。

私も町議会は、更に責任の重大なことを一層痛感し精進する覚悟でありますので、町民各位の一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

- 収入役 三國 孝一
- 教育長 小泉 洋一
- 総務課長 目黒美津英
- 財政課長 鈴木 義昭
- 税務課長 加藤 邦昭
- 住民課長 横尾 富男
- 開発課長 小野 義一
- 建設課長 荒 正芳
- (水道事業所長兼)
- 農政課長 田村 利夫
- 保育課長 荒 巖
- 農業委員会 渡辺 義光
- 事務局長 西方 市郎
- 議事事務局長 鈴木 一夫
- 教育次長 石田 功一
- 公民館長 外職員一同



# 町長と町政について語る

## 第二次町政懇話会スタート

『町民の声を反映した納得のゆく町政』これが町政運営に当たっての目標です。あらゆる場所、機会をとらえて町では、皆さんのナマのご意見やご要望を聴いて、町政を進めていくうえで参考としています。

さらに、この公聴活動を充実するため、第二次町政懇話会がスタートしました。第二次町政懇話会の委嘱状交付を兼ねた第一回の会合を十二月三日老人憩の家で開き、渡辺孝雄さんから三十名を委員に委嘱しました。

八雲さん(上ノ町)が互選されました。懇話会は、町政振興策全般についての諮問機関として昨年度発足し今回は委員の任期満了に伴う第二次の懇話会です。

第一回目の会合では、自分たちの部落がどうあるべきか、どうすべきかなど身近かな暮らしの中からご意見、ご要望を述べてもらいました。以下は、主なご意見、ご要望です。

心配ありません。駅前農協倉庫前に自転車が無秩序に放置されており、交通安全上危険ですのでなんとかして欲しい。

駅前道路は、通勤通学道路として利用の高い道路であり、町では、ほ場整備の中で道路を改良しようとしているが、地権者は道路改良には賛成、ほ場整備は反対者が多くなかなかまとまらない状況です。道路改良はいつ頃になるのか。

ほ場整備は現在約七十パーセントの同意を得ており、全地権者の同意が得られるまで我慢していただき、ほ場整備を優先して行いますのでご理解をいただきたいと思います。

作田部落前の県道は幅員がせまく、曲折していて交通事故が多発している状況です。早急に改良を望む。

地権者の理解と協力さえ得られれば早急に改良したい。

小川今泉線道路については今泉部落で道路拡張整備促進委員会をつくらせて用地の同意を取っている状況ですので、まとまり次第早期事業実施を要望。

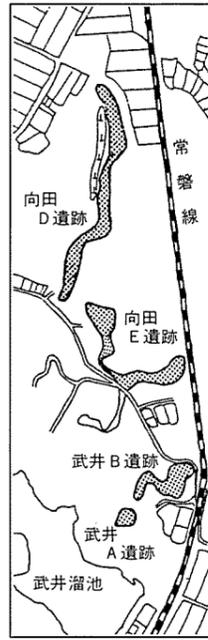
早期に実現するよう努力します。

## 町政懇話会委員 (任期59.12.3~60.12.3)

氏名	部落	氏名	部落
窪田 松雄	沢口	小野 千ヨ	小川
渡辺 孝雄	鉄炮町	村上 哲夫	釣師
渡辺 嵩	大山田	鈴木 邦子	釣師
荒 秀雄	中里	浜野 与七	大戸
吉村 恵子	埴浜	川又 利美	大戸
目黒サダ子	作田	阿部 富治	今泉
宇佐見 昭	下真弓	佐藤 文正	今泉
林 愛子	上真弓	菅野 政志	菅谷
菊地 一雄	岡	渡部 チエ	高田
片平 昭八	岡	大須賀 八雲	上ノ町
森市左衛門	杉目	寺島 米子	城内
加藤まつ子	杉目	森 克雄	洪崎
水戸 俊雄	新地町	菅野 サク	藤今
片平 公子	中島	高橋 武	富
目黒 雅夫	小川	目黒 静雄	富

「積雪又は路面凍結のおそれがなく、明らかにスパイクタイヤの使用が不必要な場合はできる限り、その使用を自粛していただきます。」

「冬期以外のスパイクタイヤ使用(はきつぷし)はしないでください。」



新地町を含む相馬地域でも、「相馬地域総合開発計画」が進められており、このため、開発側と県教育委員会が協議を行い、県教育委員会の委託を受けた県

しかし、開発事業の多い現在では、こうした文化財をそのまま残すことがむずかしい場合も少なくありません。このようなときは、開発を行う前に保存協議を行い、保存困難な場合は遺跡の発掘調査を必ず実施することになっていきます。

### 郷土の遺産 発掘現場から

新地町には、全国的にも有名な新地貝塚や三貴地貝塚をはじめとした貴重な歴史の遺産が数多く埋もれています。土の中に眠っているこのような文化遺産（埋蔵文化財）をたいせつに守り、後世の人々に伝えていくことは、私たちの大切な役目です。



文化センター遺跡調査課が遺跡の存在する場所と範囲を明らかにする予備調査を実施してきました。

同地区の遺跡は、十六カ所が確認されていますが、このうち武井A・B及び向田D・Eという四遺跡の調査を進め、今年度内に一万一千二百平方メートルの表土はぎを行う予定になっています。弥生時代の土器などが見つかった武井A遺跡の調査

このように製鉄を営んでいたのはどんな人たちであったのか、などの疑問が浮んできます。こうした疑問は、今後も継続していく発掘調査の中で、町民の方々とともに解き明かしていきたいと思えます。そしてそれは、郷土（新地町）の知られざる過去を掘り起こし、郷土の歴史

武井地区では、既に昨年の試掘調査の段階で、約百基に及ぶ製鉄関連遺構の存在が確かめられています。これらの大半は、出土している土器の特徴から判断して、奈良時代から平安時代のもので考えられます。この時代の製鉄関連遺構が一地域の中でこれほど多く見つかったのは、さわめて珍しく、当地方の古代史を考えるうえでたいへん重要な発見であると言えます。

既に終了し、現在、古代の製鉄に関係した遺跡である向田D・Eの二遺跡の調査を進めています。

### 投稿

#### 黒沢正造さんと観海校歌

一月十四日と決定。会場を鹿嶋鉾旅館とまで準備せられた。私達も固より当初から是に賛成を宣揚するため、旧仙台藩校養賢堂同窓会雑誌数冊……

### 交通安全は家庭から

「道路を渡る時は左右の安全をよく確かめて」横断歩道は手をあげて渡ろう。お子さんに言い聞かせる交通安全の注意事項がたくさんあります。

## 農家のみなさん 農業センサスにご協力ください

一月一日〜全国いっせいに農業センサスが行われます。農業センサスは、農業の実情を把握する「農業の国勢調査」ともいえる国の最も基本的な統計調査です。昭和二十五年に初めて実施されて以来、五年ごとに行われ、今回の調査が八回目になります。

### 調査の重要性

農業は、国民生活にとって欠かせないので食料の供給を担っています。また、経済社会発展の土台となる自然環境の維持、国土の保全、生活用水の安定供給などの面でも重要な役割を果しています。

### 調査の手順



調査票の配布 1月25日〜31日



調査票の収集 2月1日〜15日



調査票の集計

記入いただいた調査票は、二月一日から十五日頃までに調査員がもう一度訪問し、聞き取り調査を行いますので、その時お渡しください。

### 調査のしくみ

調査は次の流れで行われます。農林水産省―都道府県―市町村―指導員―調査員―各農家

## 農業センサスはどのように利用されます

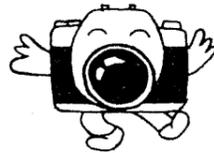
- 基礎整備事業 ● 施設の設置等
- 農業の発展方向のための分析 析と研究
- 各種農畜産物の生産振興事業 ● 農業生産基盤の整備事業等
- 農業行政の企画・立案 ● 中・長期的な国土利用計画や経済計画の策定等



▲スポーツ少年団剣道クラブが山元町と親善試合
新地町、山元町少年剣道大会が12月2日、福田の勤労青少年ホームで開かれました。この大会は、県境を越えた山元町の小・中学生との交流を図ろうと一昨年から行われているものです。試合は、個人戦と団体戦で行われ、豆剣士たちは鋭い気合で熱戦を展開。小学生の部は、山元勢が強かったものの、中学生は個人、団体とも新地勢が圧倒しました。

# トピックス

トピックスは、町内での話題をカメラレポートするコーナーです。みなさんのまわりにある話題を、役場総務課までお寄せください。



▲一足早い正月気分を楽しむ子供たち
新地町青年会（会長目黒仁、会員45名）と農業青年会議（会長片平和正、会員19名）では、12月12日と19日の両日、町内の四保育所を訪ね、モチツキをプレゼントしました。子供たちははつきたてのモチをほおばり、一足早い正月気分を味わっていました。

## カラオケ歌謡連盟発表



自慢のものを披露、カラオケ発表会
新地カラオケ連盟の誕生を祝う第一回の発表会が11月23日、尚英中屋体で開かれました。会員らは、華やかに着飾り、七〇〇人を越すカラオケファンの前でこれまでの練習成果を披露。熱唱に盛んな拍子や花束が送られていました。

新地カラオケ連盟の誕生を祝う第一回の発表会が11月23日、尚英中屋体で開かれました。会員らは、華やかに着飾り、七〇〇人を越すカラオケファンの前でこれまでの練習成果を披露。熱唱に盛んな拍子や花束が送られていました。

＜体罰は両親のいずれが＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① 父親、母親ともに	42	25	41	45	22
② 父親だけ	19	19	17	25	33
③ 母親だけ	39	56	42	30	45

＜ふたない理由＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① 口で言うだけでわかるから	51	43	56	48	57
② 口で教えた方がわかるから	26	43	26	26	29
③ 叩くことはやばんだから	7	0	7	7	7
④ 教育上よくないとされているから	13	14	8	17	0
⑤ その他	3	0	3	2	0

＜ぶつことありますか＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① よくある	8	28	8	7	5
② 時々ある	59	44	68	47	33
③ ない	33	28	24	46	62

＜ぶつ理由＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① 口で言うだけではきかないから	40	59	37	44	63
② 口で教えるのがめんどうだから	3	0	3	1	0
③ 叩くことによって体で覚えるから	19	12	20	20	37
④ つい手がでてしまう	35	29	37	31	0
⑤ その他	3	0	3	4	0

### 六、躰と体罰

○家族愛、思いやりが家族構成の中で最も大切であろう。
○「子どもは親の後姿を見て育つ」また「六〇才過ぎると子どもと離れて暮らすことは、

とてもさびしい」など最近多く耳にします。家庭での祖父、祖母を大切にいたわる姿を子どもに見せることの大切さをしみじみ感じます。

○年代に合った方法を講じている。
○「体で覚える」、「つい手が出る」は教育的な手段としては一考してほしい。
○体罰に対する考え方が年代により異なっている。
○体罰に母親の%が多いのは母親まかせの躰か。母親が子どもとの接触の数が多いためだろうか。
○子どもの躰は親の責任であり、親のき然たる態度が必要であるが体罰という考え方は問題ではないでしょうか。

皆さんとともに考えたいことはまだ多くありますが以上六ポイントについて掲載させていただきました。皆さんの考察はもっと違ったものかも知れません。大いに話題としてご活用いただければ幸いです。

この表は、町内小・中・高の保護者一、一〇二名による調査集計表で、家庭教育の傾向が十分表われています。

# 町内の子どものまもり

新地町子どもを守る会

## 皆さんはどのように考えますか

子どもを守る会調査部の「家庭教育に関する調査」結果について、前回引き続きその問題点とみられる事項の集計表をのせ、簡単な考察の視点等をのべてみたいと思います。

### 一、基本的な躰

＜基本的なしつけ＞ (単位：%)

項目	① あいさつのかた	② 言葉づかい	③ 食事作法	④ 一般の礼作法	⑤ 整理・整頓	⑥ まちんちした服さう	⑦ 質素・節約	⑧ 神仏の礼拝	⑨ 起床・就寝時間	⑩ 家での勉強	⑪ 目上への尊敬	⑫ 天皇への尊敬	⑬ 兄弟仲よく	⑭ 親への絶対服従	⑮ 他人を大切に	⑯ 清掃・清けつ	⑰ 交通安全	⑱ TV視聴時間
あなたが父母からしつけられたもの	9	8	7	8	8	6	4	6	4	4	6	1	9	3	5	6	5	1
父母にしつけられたとおり子どもにしつけているもの	10	8	7	7	8	6	4	5	5	4	5	1	9	2	5	6	5	3
自分自身の考えで子どもにしつけているもの	8	8	6	6	7	7	3	3	6	7	5	0	7	2	6	5	8	6

### 二、手伝い

＜子どもの手伝い＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① よくする	23	26	22	24	45
② ぶつう	50	43	51	51	30
③ あまりしない	27	31	27	25	25

＜子どもの手伝いに対する考え＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① もっと手伝ってほしい	44	33	46	41	46
② 今の程度でよい	54	63	52	58	42
③ 手伝いなどあまりしなくてよい	2	4	2	1	12

### 四、教育と躰

○手伝いをもっとさせたい希望が多い。
○手伝いの報酬を与えないというのは良い傾向である(家庭の一員としての自覚)
○手伝いのしたがる3才〜6才位まで、めんどうがらず手伝いの仕事を作ったり習慣化させるとともに家庭の一員としての役割りを果たす喜びを味わわせてやりたい。また仕事をてきぱきとする子は学習の能率もよい。

＜味つけはだれの好みで＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① おもに父親中心	21	12	22	21	24
② おもに母親中心	23	17	22	26	29
③ おもに子ども中心	37	42	35	39	33
④ その他	19	29	21	14	14

＜子どもは満足しているか＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① 満足していると思う	24	29	25	23	24
② まあまあだと思う	68	67	68	69	71
③ 不満だと思う	8	4	7	8	5

＜満足している理由は＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① 子供の好みに合わせているから	38	49	36	40	35
② 味つけがいいから	17	18	18	15	29
③ おかずが沢山あるから	5	0	5	6	6
④ 栄養を十分考えているから	18	14	16	20	6
⑤ 食器や盛りつけがきれいだから	2	5	3	0	0
⑥ 食事時の雰囲気がいいから	16	9	16	17	18
⑦ その他	4	5	6	2	6

＜不満な理由は＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① 子供の好みに合わせていないから	45	100	49	38	33
② 味つけが悪いから	10	0	11	9	0
③ おかずが少ないから	21	0	20	23	34
④ 栄養の事を考えていないから	11	0	8	13	33
⑤ 食器や盛りつけが良くないから	4	0	3	4	0
⑥ 食事時の雰囲気がよくないから	8	0	7	11	0
⑦ その他	1	0	2	2	0

### 五、親孝行

＜親孝行に対する考え方＞ (単位：%)

	全体	20才代	30才代	40才代	50才代
① ぎせいを払ってここまで育ててきたのだから、子が親にできる程度親につくすことは必要でない	9	4	8	11	11
② 当然だが、無理をしてまで必要でない	56	55	56	58	53
③ 然で、親は子に「孝行」を期待すべきでない	29	25	30	26	32
④ 親孝行なんてことばはおしつけがましく反感を感じる	2	8	1	2	4
⑤ その他	4	8	5	3	0

○親孝行は強いものではないが、それを期待しない親は少ないのではないかと。

たが見つけられなかった。

### 三、食事

○「子ども中心」が模範と思っただけではないか。

○年代が進むにつれ「母親中心」になっている。
○若い年代の好みと子どもの好みと同じではないだろうか。
○子どもの栄養バランス、高

齢者に対する配慮など、食物の豊富なこの時代に、好き嫌いをなくすための手だて等についても考えて見たい。



11/21~12/20

届出

▷出生(届出は14日以内に)

おめでとうございます。

(子供) (親) (部落)

昭彦	小泉	一夫	新地町
浩宗	福田	和男	釣師
麻美	後藤	一也	埴浜
望	岡田	義隆	岡
美鈴	秋元	富雄	上ノ町
静香	勝山	良成	岡
ゆい	菅野	順一	菅谷

▷死亡(届出は7日以内に)

おくやみ申しあげます。

(死亡者) (年齢) (部落)

目黒	清	86	小川
菅野	キヌイ	83	菅谷
武澤	房男	70	釣師
佐藤	カチ	71	富倉
後藤	政雄	77	藤崎
黒沢	カネ	71	中島
荒	ヤヲ	81	釣師
佐藤	スイ	88	高田
目黒	弘	76	小川

日本人の平均寿命は年々延び、男女とも世界一の長寿国と発表されました。しかし一方では自覚症状、ストレス等のある半健康人が増加しているとも言われています。

人間の生命それ自体が尊いものであることはいうまでもありませんが、真の健康とは世界保健康構(WHO)でうたわられている「肉体的・精神的・社会的に完全に良い状態にあること」で単に疾病や虚弱でないということではない。この真の健康こそが私たちの唯一の資本と思えます。

誰もが天寿を全うする最後の瞬間まで健康でありたいと願わない人はいないだろうし、その願いを実現するためにすべての人々がどうすれば良いかは、個人個人が知識として身につけていくものを生かし、更には各種各様の情報を正しく選択し実践するための努力を惜しんでならないでしょう。

そして健康づくりには各段階に適したものがあつて、自分自身は病人であるとか、半病人であるとか云って諦めることなく、少しでもよい健康をめざし進もうではありませんか。

最後に生涯を通しての健康づくりがさげばれている中で、地域住民・医療機関・行政が一体となって、しっかりと健康を見つめ、取返しのきかない生涯を悔いなく過ごし、住みよく、健康あふれる町をつくらうではありませんか。

(保健婦長 中塚文子)

真の健康をめざして

保健婦だより

二寄付ありがとう

歳末たすけあい運動募金配分内訳

配分先	金額
社会福祉施設入所者見舞	63,000円
精神病院入院患者見舞	69,000円
在宅重度障害者見舞	204,000円
在宅長期療養者見舞	87,000円
長期入院患者見舞	15,000円
母子・父子家庭見舞	105,000円
社会福祉施設配分	65,000円

○新地町社会福祉協議会へ  
ヤクルト原町営業所から  
九千二百四円

○歳末たすけあい運動に  
五十七万二千七百八十円  
(目標額五十五万三千五百円)

※これらの募金は、期間外募金を含め、次のかたがたに配分いたしました。

〔休日当番医院〕

(相馬市内)

1月 荒 医 院 ☎☎2732  
6日 善 積 医 院 ☎☎2165  
13日 米 村 医 院 ☎☎2880  
15日 吉 川 医 院 ☎☎2553  
20日 佐 藤 医 院 ☎☎3034  
27日

相馬地方婦人のつどいから 八千七百円  
荒百三さん(作田)から 二万円  
福田婦人会から 一万円  
目黒清一さん(小川)から 五万円  
新地カラオケ歌謡連盟から 五万円  
ウィングポップス楽団から 一万円  
アフリカへ愛の米一握りを送る新地町民の会事務局から 二万五千九百四円

今月の納税等

町 県 民 税 第4期  
国民健康保険税 第6期  
水道料 駒ヶ嶺地区と新地地区  
(岡、杉目を除く)

納期限は 1月31日です。

20日	19日	18日	17日	14日	13日	12日	11日	10日	6日	4日	3日	2日	1日	12月	30日	29日	27日	26日	25日	23日	22日	21日	11月				
議会	県土地連役員会	議会定例会	定例課長会	民生児童委員協議会	社会福祉協議会設立説明委員会	委員会	婦人会との懇談会、農業委員会	相馬北部土地改良区総代会	丸森町合併30周年記念式	角田自動車協力会総会	相馬地域開発特別委員会	町政懇話会、知事と懇談	県企画調整部長と協議、山元・新地町少年剣道交流会	文教厚生委員会、日産金	属(新地工場開所記念祝賀会)	議会	沿岸漁業構造改善事業協議会	全国町村長大会	建設省・農林水産省陳情会	県土地連監査	新地野球リーグ会長杯大会	町民バレーボール大会	引渡式	新地小敷地拡張説明会	都市計画審議会	新地カラオケ連盟発表会	「愛の米一握運動」物資

町長日記  
荒 和英